

令和 3 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

まちづくり目標	ともにつくるまち	政策名	人と人がつながるまちづくり						
施策 No.	4	施策名	定住対策の充実						
主管課名	地域協働課								
関係課名	商工観光課、都市計画課、生涯学習・スポーツ課、教育総務課								
10年後の目指す姿	人と人のつながりを大切にしたい力強く輝くまちで市民が生活しています。								
施策の現状及び課題	現 状	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと教育の実施や地域資源を活用したイベントの開催を通じて、魚津の魅力を再発見してもらおうとともに、住み続けたいまちづくりに取り組んでいます。 様々な手法により、女性の視点から見た魚津の魅力を発信するとともに、子育て支援に取り組んでいます。 転入者や市外在住者を対象とした住宅取得支援に努め、定住人口の拡大に取り組んでいます。 							
	課 題	<ul style="list-style-type: none"> 市民一人一人が市政運営に参画する意識の高揚と広い分野への参加の促進に取り組むとともに、地域のリーダーの発掘、育成が求められています。 地域課題解決のため、地域振興会を中心とした地域づくりと、市民としての役割を自覚するとともに、あらゆる分野における男女共同参画意識の啓発を行う必要があります。 市民が人権尊重の理念を正しく理解し、他人への思いやりの心を育むとともに、平和に対する意識を高める必要があります。 							
施策を進めるための役割分担	行 政	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな自然や人と人のつながりを活かした誰もが住みたくなるまちづくりに取り組みます。 賑わい創出や子育て支援など若者が住み続けたいまちづくりに取り組みます。 定住者を増加させるため、転入者や市外在住者に対する各種住宅対策に取り組めます。 							
	市 民 ・ 事 業 所	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと魚津に誇りと愛着を持ち、その魅力を内外に発信します。 地域の活性化や子どもたちがのびやかに育つ環境整備に努め、地域力の向上を図ります。 遊休資産(空家・空地)を活用した住環境整備に努めます。 							
目指す姿の実現のための取組 (基本事業)	基本事業①	定住人口の拡大							
	基本事業②	若者が住みたくなるまちづくりの推進							
	基本事業③	住宅対策の推進							
	基本事業④								
施策の トータルコスト	区 分		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数		本	9 (9)					
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	4 (4)					
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	4 (4)					
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	1 (1)					
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)		千円	35,213					
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計		千円	12,569					
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計		千円	2,144					
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計		千円	20,500					
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計		千円						
C. 施策に携わる正規職員数合計		人	18						
D. 事務事業に要する年間総時間		時間	7,200						
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)		千円	30,816						
F. トータルコスト (B+E)		千円	66,029						
効 率 性 指 標	市民1人あたりにおける施策の								
	G. 事業費 (定義式 : B/人口)		円	870					
	同 上								
	H. 人件費 (定義式 : E/人口)		円	761					
同 上									
I. トータルコスト (定義式 : F/人口)		円	1,631						
参 考	1時間あたりの平均人件費		円	4,280					
	魚津市の人口(各年度12月末時点)		人	40,477					

基本事業概要シート①

施策 No.	4	施策名	定住対策の充実
基本事業名	①定住人口の拡大		
基本事業の目的(意図)	ふるさと教育、地域資源を活用した賑わい創出のイベント等の実施により、魚津ファンを増やし定住人口の拡大に努めます。		
令和3年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【定住・交流促進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住セミナー(オンライン12回、リアル1回)に参加し、移住を希望している方に市の魅力や暮らしについて周知するとともに、移住希望者のアテンドを積極的に行いました。 ・平成30年5月から任命された第Ⅱ期隊員は、3年の任期を終え、令和3年5月から移住コンシェルジュとして移住相談やアテンドに従事しています。 <p>【ふるさとワーキングホリデー推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市部の若者を対象に、一定期間市内で働いて収入を得ながら滞在してもらい、市の暮らしを体感してもらうことで、移住定住の促進や関係人口の創出を図りました。 <p>【ふるさと教育推進事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと教育スタンダードプラン」に基づき、ふるさと発見バス事業を小学校2学年、4学年、5学年、6学年に実施しました。 ・地域への愛着をもってもらうため、地場産業体験事業を小学校3年生に実施しました。 <p>【地域おこし協力隊事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年7月からまちづくり担当として任命された第Ⅳ期隊員は、中央通りの空き物件のリノベーションや中央通りの空き店舗を活用したタナノナカミセを拠点に、まちの賑わいづくりを進めています。 ・地域おこし協力隊を募集したところ、おためし地域おこし協力隊に3名の参加があり、内1名が令和4年度からの採用となりました。 		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
人口動態における社会動態	人	△179	△260	△145 <small>10月に公表予定</small>	△110	△75	△40	±0	+20
県外からの移住者数	人	29	19	30 41	35	40	45	50	70

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和3年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 地域おこし協力隊事業	13,445,000	5,178,153	8,266,847	B	地域協働課
2	一般会計	○ 定住・交流促進事業	7,708,000	5,059,163	2,648,837	B	地域協働課
3	一般会計	○ ふるさとワーキングホリデー推進事業	830,480	830,480	0	A	地域協働課
4	一般会計	○ ふるさと教育推進事業	1,552,000	1,501,700	50,300	A	教育総務課
5	一般会計	○ コンベンション開催事業(施策3①再掲)	(3,500,000)	(850,800)	(2,649,200)	B	商工観光課
6	一般会計	○ 国際交流推進事業(施策3①再掲)	(297,000)	(173,057)	(123,943)	A	地域協働課
7	一般会計	○ 多文化共生推進事業(施策3①再掲)	(110,000)	(21,022)	(88,978)	A	地域協働課
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			23,535,480	12,569,496	10,965,984		

基本事業概要シート②

施策 No.	4	施策名	定住対策の充実
基本事業名	②若者が住みたいくなるまちづくりの推進		
基本事業の目的(意図)	あらゆる人が、結婚や子育てに対して積極的に行動できるよう、出産・育児にやさしい企業の育成や独身者が交流しやすい環境づくりに取り組みます。		
令和3年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【女性が住みたいまち事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「※SODO」を主体とした活動を実施、ミーティング、取材、編集を経て、秋にフリーペーパー「ウオツとワタシ」を発行し、市内外へ無料配布しました。 <p>【このとりプロジェクト婚活支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・婚活パーティーを2回(参加者38名)、マインドアップセミナーを1回(参加者12名)開催しました。 ・「このとりマリッジサポート制度」(このとりサポーターによる登録者のマッチング)を継続して実施しました。 <p>【男女共同参画推進事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚津市男女共同参画推進市民委員会会議を2回開催し、第4次男女共同参画プランの事業報告と情報交換を行いました。 ・男女共同参画地域推進員による定例会・学習会を7回開催し、広報誌を1回発行しました。 ・市民への普及啓発を目的とした「オレ流家事育児フォトコンテスト」を実施し、応募作品を市内ショッピングセンターに掲示しました。 <p>【ママと子どもが輝くまちづくり事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大により、ママや子どもの交流や活動の場が減少していることから、ママや子ども向けのイベントをフリーランスママを支援する団体に委託し、移住者ママのコミュニティ子育て世代のネットワーク拡大を目指しました。 <p>【ふるさと魚津発県外学生応援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、外出制限のため授業はオンライン、帰省もできない県外在住の高校生以上の学生に対し魚津の特産品を送付する事業を行い、40名の学生から申し込みがありました。また、制度利用者にはふるさと魚津をより身近に感じてもらうため、市の情報や就職支援情報を送付しました。 		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
イクボス宣言をしている行政、企業等の団体数	団体	15	15	16 16	18	22	26	30	50

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和3年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 女性が住みたいまち事業	500,000	500,000	0	B	地域協働課
2	一般会計	○ このとりプロジェクト婚活支援事業	550,000	521,000	29,000	B	地域協働課
3	一般会計	ママと子どもが輝くまちづくり事業	1,000,000	992,103	7,897	-	地域協働課
4	一般会計	ふるさと魚津発県外学生応援事業	230,000	131,239	98,761	-	地域協働課
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			2,280,000	2,144,342	135,658		

基本事業概要シート③

施策 No.	4	施策名	定住対策の充実
基本事業名	③住宅対策の推進		
基本事業の目的(意図)	転入者や市外在住者に対し、魚津に住んでもらえるきっかけとなる住宅取得支援に取り組みます。		
令和3年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【空家対策支援事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> 空家の利活用を促進するため、固定資産税の納税通知書に「空家・空地情報バンク」に関するチラシを同封しました。 空家・空地情報バンクを活用して、所有者と利用希望者の契約が17件成立しました。 <p>【子育て新婚世帯宅取得支援事業】(施策32①再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> 移住・定住促進策として、居住誘導区域内(6世帯)や子育て新婚世帯(41世帯)の住宅取得者に対し、住宅取得に要する費用の一部の支援を行いました。これらの補助対象者の内、市外からの転入は、17世帯となっています。 <p>【住宅団地造成支援事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> 居住誘導区域内の定住を促進するため、3区画以上の住宅団地の造成を行う事業者に住居用区画面積に対し4,000円/㎡の補助金を交付し、2事業者が2団地11区画を造成しました。 <p>【若年移住者賃貸住宅助成事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> 転入してきた若年勤労者に対して、入居費:76件5,347千円、家賃:37件742千円を助成しました。 		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
転入世帯のうち住宅支援事業により 転入した世帯の割合	%	1.7%	2.9%	1.7%	1.8%	1.8%	1.9%	2.0%	3.0%

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和3年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 子育て新婚世帯住宅取得支援事業	48,057,000	20,500,000	27,557,000	A	都市計画課
2	一般会計	○ 若年移住者賃貸住宅助成事業(施策27②再掲)	(7,730,000)	(6,098,764)	(1,631,236)	B	地域協働課
3	一般会計	○ 居住誘導区域住宅団地造成支援事業(施策29②再掲)	(11,943,000)	(11,943,000)	0	A	都市計画課
4	一般会計	○ 空家対策支援事業(施策32①再掲)	(3,425,000)	(2,250,233)	(1,174,767)	A	都市計画課
5	一般会計	建築確認申請送付事務(施策32①再掲)	(60,000)	(57,528)	(2,472)	-	都市計画課
6	一般会計	○ 木造住宅耐震改修支援事業(施策32①再掲)	(2,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	A	都市計画課
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			48,057,000	20,500,000	27,557,000		

施策 No.	4	施策名	定住対策の充実
令和3年度の評価結果(基本事業の成果を考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	<p>【①定住人口の拡大】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「ふるさとワーキングホリデー推進事業の参加者数」は、8名(前年度比7名増)が参加しています。 ◆「県外からの移住者数」は、41人(前年度比22人増)となり、目標の30人を上回っています。 <p>【②若者が住みたくなるまちづくりの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆イクボス宣言をしている行政、企業等の団体数は、16団体(昨年度比1団体増)となり、目標値と同数となっています。 ◆このとりマリッジサポート登録者数が56人(昨年度比7名増)となっています。 <p>【③住宅対策の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「転入世帯のうち住宅支援事業により転入した世帯の割合」は、2.3%(前年度比0.6%減)で目標値を上回っています。 ◆空家空地情報バンク制度は空家を利用したい人の問い合わせが多くなっています。(利用者登録件数平成27年度:13件、平成28年度:27件、平成29年度:73件、平成30年度:67件、令和元年度:67件、令和2年度:69件、令和3年度:76件) ◆本市では、平成19年度から空家空地情報バンク制度を実施しており、滑川市は平成18年度から、黒部市は平成27年度から実施しています。 		
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (令和3年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取組み内容を中心に記述)		
<p>【①定住人口の拡大】</p> <p><地域おこし協力隊事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆平成30年5月から従事していた第Ⅱ期隊員は、3年間の任期終了後、令和3年5月より移住コンシェルジュとして任命され、引き続き定住しています。 <p><ふるさとワーキングホリデー推進事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆3事業所において8名が延べ181日仕事をしながら滞在し、仕事終了後や休日において、職場の同僚や雇用主と交流を深め、魚津の魅力を知ってもらうことができました。 <p><ふるさと教育推進事業>(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ふるさと発見バス事業や地場産業体験事業の体験を通じ、ふるさと魚津に対し、より深い学習を実現しました。 <p>【②若者が住みたくなるまちづくりの推進】</p> <p><このとりプロジェクト婚活支援事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆婚活パーティーやマインドアップセミナーを開催するとともに、このとりサポーターがこのとりマリッジサポート会員のマッチングを行い、独身者の出会いの場を創出しました。 <p><男女協働参画推進事業>(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆男女共同地域推進員が男性育児休業取得者やイクボス企業のインタビューを広報誌に掲載し、男女共同参画の必要性を周知した結果、市民の意識の高揚が図られました。 <p>【③住宅対策の推進】</p> <p><若年移住者賃貸住宅助成事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆U・I・Jターンで本市に転入する40歳未満の若年者に対し、市内の賃貸住宅にかかる入居費用及び家賃を助成し、若年者の就労及び移住・定住を促進しました。 <p><子育て新婚世帯宅取得支援事業>(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆居住誘導区域内や子育て新婚世帯の住宅取得に対し、住宅取得費の一部を支援することにより、子育て新婚世帯の移住・定住を促進しました。 			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<p>【①定住人口の拡大】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地域おこし協力隊の受け入れを希望している団体の募集を継続して実施するとともに、新たに地域おこし協力隊とともに地域活性化や地域課題の解決を目指す団体と協議を行います。 ◆現在、地域おこし協力隊として活動しているⅣ期隊員が任期終了後も定住できるように継続してサポートを行いながらまちの賑わい創出に努めます。 ◆移住相談や移住希望者のアテンドを積極的に行い、魚津の魅力を知っていただけるよう努めます。 ◆将来的に市外へ転出しても、ふるさと魚津を思い出してもらえるよう、幼少期から魚津の魅力をすり込めるよう、関係機関と連携し、ふるさと教育を推進します。 <p>【②若者が住みたくなるまちづくりの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆このとりマリッジサポート会員の増加を目指すとともに参加してみたいと思われる婚活イベントの企画に努めます。 ◆ふるさと魚津発県外学生応援事業により住所を把握している学生に対し、定期的にイベント情報や就職情報を送付することにより、ふるさと魚津の魅力を伝え、Uターン就職を促します。 ◆まちづくりに精力的に活動している方々と連携し、若者が楽しめるイベントを実施し、賑わいを創出し、住み続けたいと思えるようなまちづくりに努めます。 <p>【③住宅対策の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆子育て世帯や新婚世帯の魚津市内での住宅取得や賃貸住宅の家賃への支援を行い、移住定住を促進します。 ◆空家空地情報バンクへの登録を促進し、市内の空家や空地の情報を全国に発信します。 			